

発掘速報展

平城

2012

平成24年度平城宮跡資料館 春期企画展

平成25年 3月16日 土 — 6月2日 日

主催：独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所

後援：文化庁・国土交通省近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所・奈良県教育委員会・奈良市教育委員会

近畿日本鉄道株式会社・奈良交通株式会社・株式会社南都銀行・法相宗大本山薬師寺

伽藍と既調査区(朱線)配置図

薬師寺食堂

今回の発掘調査は、法相宗大本山薬師寺がすすめている境内保存整備計画に基づいた食堂再建事業にともなうものです。食堂の正確な位置や規模、構造など、食堂の全容を解明すべく全面を調査対象としました。

一食堂一室九間西東屋長十四丈五寸四入五寸柱高二丈五寸前戸九間後戸三間左右脇門各一間中一内内殿本堂全鋼半丈六阿弥佛像并観音持大梵并合一併

薬師寺縁起 長和四年(1015)に撰述されたもので、薬師寺古記録として集大成されたものとしては最古の編纂。

いざ、発掘!!

過去の調査成果を事前に把握し、これから現れる遺構に備えるのが肝要。

盛土の様子? 礎石の据え方? 雨落溝の有無は? 使用石材は? 掘込地業の有無は? 基壇外装の構造は?

【文献資料を解釈する】

『薬師寺縁起』によると、創建時の食堂の規模は桁行 11 間 140 尺、梁行 4 間 54 尺 5 寸で、屋根の形は寄棟造。天禄四年(973)に隣接する十字廊から出火した火災により焼失した。その後、寛弘二年(1005)に再建されたが、いつまで存続したかは不明。

礎石の下には壺地業が施されている!

【基壇土の積み方を復元する】

食堂の基壇は、最も残りの良いところで地覆石上面から 50cm ほど残っていた。築成の工程は少々複雑。地山の上に整地土を敷き、版築で基壇を築成→礎石を据える位置に直径 2~2.8m の大規模な穴(掘方)を掘り、その中を版築する(壺地業)→壺地業の上に礎石を据え、基壇上面まで版築をおこなう、と復元できる。

壺地業の効果

砂と土を層状につき固めることで、強固な地盤を築成する版築。礎石の下のみを掘り込んで、版築で埋め固めた工法を「壺地業」とよぶ。もっとも荷重のかかる柱の直下を効率的に堅固にする狙いがあったのだろう。

壺地業から出土した遺物 あえて瓦や土器を混ぜ込んだとみられる

調査区遺構平面図

地覆石、礎石、壺地業、地覆石及び階段、地覆石抜取溝、石敷、雨落溝、瓦集中部、大土坑

【建物の機能を探る】

食堂とは、文字通り僧が会集して食事をする場には違いない。しかし、本調査では、食堂の機能を直接的に示すような痕跡は得られなかった。

【廃絶の年代を絞り込む】

食堂の東南部には、基壇を破壊する大土坑が検出された。ここでは、奈良時代から鎌倉時代にかけての膨大な量の瓦や、13 世紀末~14 世紀初頭の瓦器碗や土師器皿などが出土した。瓦集中部の瓦の年代と考え合わせて、14 世紀初頭までには食堂が廃絶していたとみてよいだろう。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【建物の機能を探る】

食堂は、いつなくなったのだろうか?

他の寺院の食堂は? 奈良時代後半の西大寺食堂院は食堂を中核とする施設であり、巨大な井戸や埋蔵列、食器、食器具、食物の残滓、製塩土器、食材の記された木簡など、そこでの活動を雄弁に物語るモノが豊富にあらわれた。古代寺院の食堂の機能を考えるうえで、重要な情報にあふれている。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

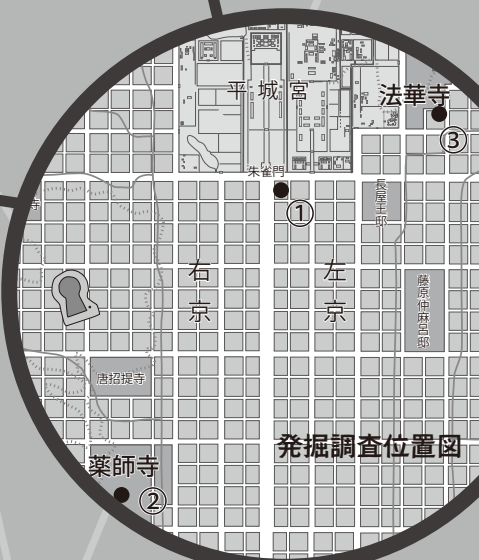
発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

【周辺の調査成果を蓄積し、遺構を推測・解明する】

発掘調査が始まると、過去の周辺の調査区の図面や日誌を引っ張り出してきて読み込み、どのような遺構が現れるか予測をする。果たして近くの調査区と一連の遺構が現れるか、思いがけない遺構が出てくるのか…。調査が終了した後、周辺地区の調査成果とあわせて、どのように位置づけられるかを吟味する。一度の小規模調査では断片的な情報も、成果を蓄積していけば、一帯のようすの解明につながる。

2012年度の発掘調査

- ① 平城京左京三条一坊一・二坪
第488、491、495次調査
- ② 薬師寺食堂 第500次調査
- ③ 法華寺周辺
第501、504次調査



発掘調査位置図

展示室はまるで、調査員の頭の中
発掘調査員になったつもりで、
遺跡を解明する旅にしよう！

ギャラリーイベント スケジュール

3/22、4/12、19、26、5/17、24、31

…研究員による
ギャラリートーク

3/29、4/5、5/10

…春休みクイズ大会

※詳細はホームページに記載
<http://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/>

ギャラリーイベント

会期中 毎週金曜日 14:30～

(5月3日はのぞく)

月曜休館 (月曜が祝日の場合は
翌日火曜休館)

開館時間 9:00～16:30

(入館は16:00まで)

2013年3月16日

発行 独立行政法人国立文化財機構
奈良文化財研究所
〒630-8577 奈良市二条町2-9-1
編集 奈良文化財研究所 展示企画室
ポスター・ちらしデザイン 津波古 真由美
印刷 能登印刷株式会社

お問合せ：TEL 0742-30-6753
(連携推進課)